

長野原町の中央小学校(6月22日実施)・浅間小学校(7月14日実施)の児童を対象に、砂防学習会を開催しました。児童たちは、模型を使った土砂災害の実験、自然災害体験車を活用した土砂災害の疑似体験、長野原町内にある砂防堰堤(赤羽根沢砂防堰堤)の現地見学などを通じて、自分の住んでいる地域の自然災害を学び、砂防堰堤が果たす役割や土砂災害から地域を守る砂防事業について学びました。

中央小学校



土砂災害や砂防の役割などを
スライドにて職員が説明



模型を使った土石流の実験



土石流疑似体験
(自然災害体験車)



浅間小学校



土砂災害や砂防の役割などを
スライドにて職員が説明



児童が模型を使って土石流の影響
や町を守る砂防堰堤の効果を体験



砂防堰堤の見学
(赤羽根沢砂防堰堤)



地域のハザードマップを使って
避難場所などを確認

利根川水系砂防事務所では、砂防の重要性や仕組みを実感していただくことを目的として、管内(御代田町、佐久市、軽井沢町、小諸市、長野原町、嬬恋村、片品村)の小学校と連携し児童を対象とした砂防学習会を毎年開催しています。

「砂防学習会」(出前講座)に関する お問い合わせ先は
↓ コチラ ↓ {又は利根川水系砂防事務所まで}

<https://www.ktr.mlit.go.jp/soshiki/soshiki00000039.html>